

## 開催報告

### 第5回未来ビークルリサーチセンターシンポジウム

未来ビークルリサーチセンター 准教授 上原秀幸

平成19年9月18日、豊橋商工会議所において、今回で5回目となる未来ビークルリサーチセンターシンポジウムを開催したので報告する。当日のプログラムとシンポジウムの様子を写真に末尾に掲載したのでご覧頂きたい。

未来ビークルリサーチセンターは、平成16年12月の開設以来、文部科学省ならびに豊橋市、田原市の支援をもとに統合学術研究拠点としての独自の連携融合事業を展開してきている。本シンポジウムの午前の部では「連携融合事業報告会」を開催し、平成18年度に実施された5件の連携融合プロジェクトの活動成果が報告された。また、当センターでは、「衝突予防安全」「先端異材接合」「燃料電池」を3大重点プロジェクトと位置づけ取り組んでいる。午後の部の「予防安全シンポジウム」では、“予防安全のための運転環境およびドライバの計測技術の現状と課題”と題して学外の著名な研究者3名をお招きしてご講演頂くとともに、本学から2件の研究発表を行った。昼休みには場所を地下のレストランに移して立食形式の交流会を開催し、地元自治体および企業の方々をはじめ講演者を交えた活発な意見交換を行うことができた。なお、本シンポジウムの出席者数は、午前の部が41名（学外23名、学内18名）、交流会が26名（学外16名、学内10名）、午後の部が56名（学外28名、学内28名）であった。最後に、本シンポジウムを開催するにあたりご協力頂いた関係者各位にこの場をお借りして御礼申し上げたい。

=====

### 第5回未来ビークルリサーチセンターシンポジウム

日時：平成19年度9月18日（火）

場所：豊橋商工会議所9階大ホール

主催：豊橋技術科学大学

後援：豊橋市、田原市

共催：豊橋商工会議所、田原市商工会

#### ◇午前の部：平成18年度連携融合事業成果報告会

10:00-10:10 挨拶：西永 頌（本学学長）  
成田静夫氏（豊橋市産業部長）

10:10-11:50 座長：河村庄造（未来VRC教授）（○：登壇者）

(1) 音声・画像・生体情報を統合する適応運転支援システムの開発

○章 忠（生産システム工学系教授）、三宅哲夫、中川聖一、廣島康裕、安田好文

(2) 最先端磁気センサ技術を応用した劣化および溶接の検査システム

○田中三郎（エコロジー工学系教授）、西宮伸幸、竹中俊英、廿日出 好

- (3) 電気ビークル用次世代電池の開発とエネルギーステーションの検討  
滝川浩史, ○桶真一郎 (電気・電子工学系助教)
- (4) リサイクル性を考慮したハイブリッド車体用アルミ/鋼接合法の研究  
○安井利明 (未来 VRC 准教授)、椿正己、福本昌宏、戸田裕之、川上正博
- (5) 自動車産業からの多角化のための技術的経営 (MOT) 手法の開発  
近藤邦治、山口 誠、宮田 譲、渋澤博幸, ○藤原孝男 (人文・社会工学系教授)

◇交流会

12:00-13:20 挨拶：福本昌宏 (未来 VRC センター長)  
鈴木喜玄氏 (田原市商工会会長)

◇午後の部：予防安全シンポジウム

「予防安全のための運転環境およびドライバの計測技術の現状と課題」

- 13:35-13:45 挨拶：福本昌宏 (未来 VRC センター長)
- 13:45-14:45 基調講演 座長：章 忠 (生産システム工学系教授)  
「ドライブレコーダを用いた運転環境およびドライバの計測の現状」  
永井正夫氏 (東京農工大学共生科学技術研究院システム情報科学部門教授)
- 14:45-15:45 招待講演 座長：章 忠 (生産システム工学系教授)  
「生体信号用センシングシートの研究開発」  
金子成彦氏 (東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻教授)
- 15:45-16:00 休憩
- 16:00-17:30 一般講演 座長：章 忠 (生産システム工学系教授)
- (1) 高齢・認知症ドライバの実態と医工連携による対策の現状  
伊藤安海氏  
(国立長寿医療センター研究所長寿医療工学研究部生活支援機器開発研究室室長)
  - (2) ドライバの注視行動計測に基づく運転状態の推定  
○三宅哲夫 (生産システム工学系准教授)、今村 孝、章 忠
  - (3) ドライビングシミュレータを用いたドライバの運転技能推定  
○今村 孝 (生産システム工学系助教)、章 忠、三宅哲夫
- 17:30 閉会

